

医療法人社団 石橋内科 広畑センチュリー病院



「手作りの医療」を支えるシステムの基盤を Cisco Start シリーズで一新



Why Cisco?

「日々の仕事を支えるシステムが賢いかどうかは、すごく大きなポイントだと思います。」

—— 医療法人社団 石橋内科 広畑センチュリー病院 事務長 石橋 正子 氏

「コンパクトな予算でより高い品質を実現するのに、Cisco Start シリーズは最適な選択肢です。」

—— 日本電算設備株式会社 大阪支店 営業部 マネージャー 村田 和広 氏

製品 & サービス

- ・ Cisco Start ルータ (Cisco 841M J シリーズ)
- ・ Cisco Start ワイヤレス (Cisco Aironet 1700 シリーズ アクセス ポイント)
- ・ Cisco ASA 5516-X シリーズ

課題

- ・ 院内ネットワークの全体像が把握できず、障害発生時の切り分けが困難
- ・ ルータ故障により電子カルテが見られなくなることがある
- ・ 問い合わせ内容に応じて対応ベンダーが異なり、負担が大きい

ソリューション

- ・ Cisco Start シリーズで機器を一新し、ネットワーク構成を整理
- ・ 対応ベンダーを一本化して、問い合わせの負担を削減

結果～今後

- ・ 安定した院内ネットワーク基盤を実現
- ・ ネットワークの冗長化を検討
- ・ ビデオ会議の活用などを検討

1966年の開業から50周年を数える広畑センチュリー病院は、「患者様の求める手作りの医療」を理念とし、急性期治療を終えた患者の寝たきりの防止と家庭復帰の支援という明確な目的を持って、多数の専門スタッフが一人一人の患者が必要としている医療と介護を提供しています。また、経営面では患者、職員、経営、取引業者の4つの満足度を常に高い水準で維持する「4S経営」を打ち出しています。

こうした病院全体の行動規範として、広畑センチュリー病院では「クレド（信条）」を明確にまとめ、全職員で共有しています。事務長の石橋正子氏は、その重要性を次のように話します。

「医療をめぐる状況や制度が常に変化している中、異なる分野に携わるスペシャリストが集まる病院において、患者のために何をすべきか、職員全員の目的意識を1つにして取り組むには信条というものが不可欠と考えました。社訓のように上から伝えるのではなく、皆で考えて作り上げたものであり、すべての職員が家族のような気持ちで患者様と接することの大切さを認識して、自信を持って最高の医療をご提供することを目指しています。10年以上続けている取り組みで、これがすべての基礎にあるからこそ、小手先ではない患者様への親身な対応、おもてなしを実現できているのです。」

そして、人が直接行うことにより気持ちを振り向ける際、院内のICTシステムによるサポートの重要性は増えています。これが賢いかどうかで大きな違いが生まれるでしょう。」

課題

広畑センチュリー病院には回復期リハビリテーション病棟と医療療養病棟の2つの施設があり、それぞれで電子カルテや医療システムが稼働しています。病棟間の関係、データの相互参照などの基盤となる院内ネットワークはこれまで更改を繰り返してきましたが、時期によって対応ベンダーや導入製品が異なり、全体像の把握は極めて困難な状況でした。

総務課の穂田早紀氏は次のように話します。

「サーバ室の配線は混乱し、障害時の原因の切り分けそのものも非常に大変でした。機器の相性なのか、故障なのか、構築ベンダーに問い合わせてもなかなか回答を得られない状況でした。ルータは老朽化していたこともあって故障が多く、電子カルテが見られなくなるという致命的な問題も起きていたのです。今回、ネットワークを見直すタイミングを迎えたので、今まで抱えてきた問題をすべて解決したいと考えました。」



医療法人社団 石橋内科
 広畑センチュリー病院
 事務長
石橋 正子 様



医療法人社団 石橋内科
 広畑センチュリー病院
 総務課
稗田 早紀 様

ソリューション

今回、広畑センチュリー病院は、運用している電子カルテベンダーから紹介を受けた日本電算設備に院内ネットワークの構築を依頼しました。日本電算設備はネットワークの調査から着手し、新たな機器としてルータとワイヤレス LAN アクセス ポイントを Cisco Start シリーズで提案。また、セキュリティ機器もシスコ製品に統一するかたちで無事採用されました。

日本電算設備株式会社 大阪支店 営業部 マネージャーの河端敦匡氏は次のように話します。「故障が多いとお聞きしていたルータを念頭におき、病院の物理的な全体構成から調査を始めました。プロジェクトは 2016 年 3 月頃に始まり、およそ 3 ヶ月ほどを経て 6 月に完了しました。病院の拠点が数カ所あり、ネットワーク構成が込み入っていたので、調査に 1 ヶ月ほどかかりましたね。」

名古屋営業所 マネージャーの橋本和幸氏は、次のように付け加えます。「ご依頼の内容や調査結果を見て、単にネットワークを更新すればよいという話ではないことがわかりました。ネットワーク上にどのようなシステムが載っているか、病院側とすり合わせていく中で、我々の総合力を活かす形で対応できる部分がいろいろありましたので、トータルな形でご提案をさせていただきました。」

Cisco Start シリーズを提案した理由について、大阪支店 営業部 マネージャーの村田和広氏は次のように話します。

「全体の予算をコンパクトにまとめる必要があったことと、機器の品質をより高めたいという条件に Cisco Start シリーズが合致したのです。Cisco Start シリーズについては以前から情報を集めていて、ルータは事前に評価機を借りて検証も行っていました。シスコ製品の故障率の低さなどもこれまでの経験からよくわかっていましたので、ルータに加えて院内のワイヤレス環境の強化を合わせてご提案し、ご納得いただけました。」

広畑センチュリー病院の「クレド(信条)」

病院全体の理念、行動規範としてすべての職員が共有している「クレド(信条)」 ※パンフレットより抜粋

<p style="text-align: center;">経営理念</p> <p style="text-align: center;">患者様の求める 手作りの医療</p> <p style="text-align: center;">医療法人社団 石橋内科 理事長 石橋 悦次</p>	<p style="text-align: center;">Hirohata Century Hospital</p> <p style="text-align: center;">クレド(信条)</p> <p>医療法人社団 石橋内科は、チームアプローチを基に、最高の医療技術を提供することを最も大切な使命と捉えています。</p> <p>私たちは経験と実力を最大限に発揮し、患者様やご家族の方に、安全かつ安心して過ごしていただける環境作りを目指します。</p> <p>私たちは患者様一人一人の人格を尊重すると共に、プライバシー及びプライドをお守りすることをお約束いたします。</p> <p>私たちは、患者様に心のやすらぎを感じていただくために、「家族の一員」の思いで、共に人生を豊かにし、最高のパーソナルサービスと、洗練された雰囲気と施設を提供することが、最大の喜びです。 (法人基本方針)</p>	<p style="text-align: center;">患者様の権利宣言</p> <p>「患者様の求める手作りの医療」を理念とし、最良の医療を提供することを使命とする当院では、医療の中心は、患者様であることを深く認識し、患者様の権利についてここに宣言いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者様は、個人としてその人格を尊重される権利を有する 2) 患者様は、平等に良質で最善の医療を受ける権利を有する 3) 患者様は、御自分の診療内容について、理解しやすい言葉や方法で、十分な説明を受ける権利を有する 4) 患者様は、御自分の診療内容に関する情報について知る権利を有する 5) 患者様は、個人の情報やプライバシーについて保護される権利を有する 6) 患者様は、医療行為の決定について、御自分の意見を表明し、自己決定する権利を有する
--	---	---

院内風景

心の安らぎを感じられる空間作り (写真左)

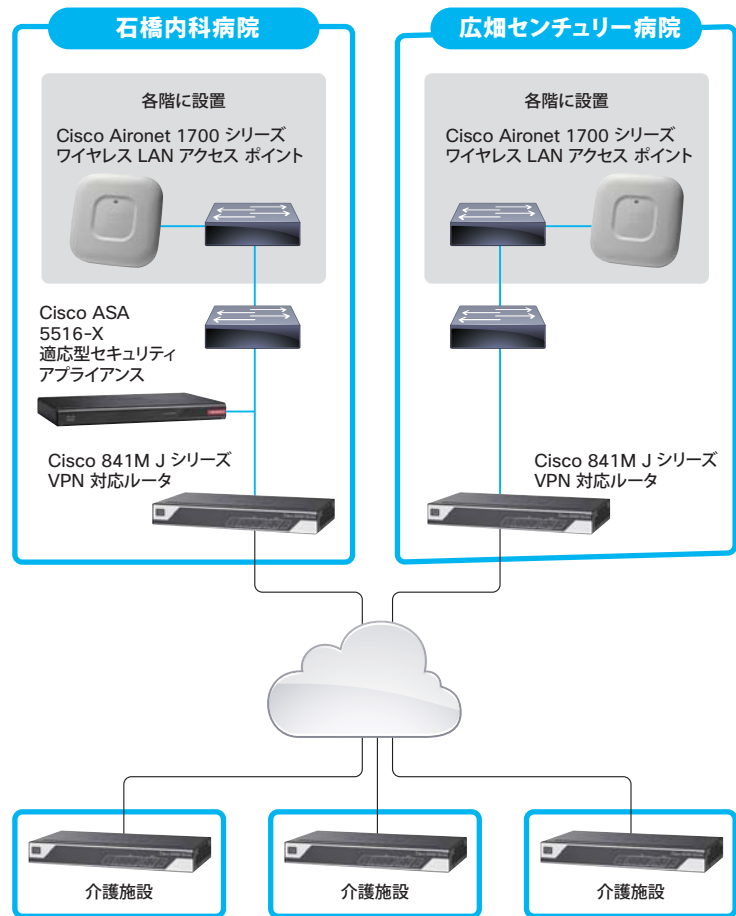
院内には患者に心の安らぎを感じてもらえるように、「ヒーリングアート」としてさまざまな芸術作品を展示している。また、本物のフラミンゴを飼育しており、院内からゆったりと観賞できる「フラミンゴカフェ」も設けている。

ノート PC で電子カルテを閲覧 (写真右)

院内ではノート PC で電子カルテを閲覧できるようにしており、そのインフラとしてワイヤレス LAN を活用。いつでもすぐ情報を共有できるようにしている。



ネットワーク構成



● 販売パートナー



日本電算設備株式会社
大阪支店 営業部
マネージャー
村田 和広 様



日本電算設備株式会社
大阪支店 営業部
マネージャー
河端 敦匡 様



日本電算設備株式会社
名古屋営業所
マネージャー
橋本 和幸 様

石橋氏は、日本電算設備の対応を高く評価しています。

「とても誠実にご対応いただき、ネットワークの調査や障害の原因追求を通して技術面でもしっかりと感じました。ご提案の内容もシンプルで、ひと目で良いのだとわかりました。」

結果～今後

ネットワーク機器の品質向上と全体の見直し、そして対応ベンダーの一本化により、広畑センチュリー病院の ICT インフラはこれまでの課題をすべて解決しました。稗田氏は、日々の対応や問い合わせの負担が大きく減ったと話します。

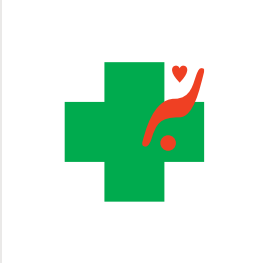
「以前はトラブルの内容によって問い合わせ先が違っていましたが、今は一本化されてスムーズです。電話でもすぐ回答をいただけますし、必要な資料も速やかにご提供いただけるのでとても助かっています。止まっては困る基盤なので、安心感が大きく高まりました。」

今後は、ネットワークの冗長化などインフラのさらなる強化、改善のほか、安定したネットワークを活かしたビデオ会議の利用促進なども検討していくとしています。

石橋氏は次のように話します。

「患者様のためにもしっかりしたインフラができたことは何よりです。今ならこれまでのことができるとわかりましたし、すごく便利になってよかったと思っています。」

医療法人社団 石橋内科 広畑センチュリー病院



所在地 兵庫県姫路市広畑区正門通 4 丁目 2-1
設立 1966 年 2 月
病床数 60 床
URL <http://www.1484naika.jp/century/>

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2016 年 11 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ